

## 平成 31 年度の地域医療構想調整会議の進め方について（案）

## 【地域医療構想でめざすすがた】

- 誰もが元気でいきいきと暮らしながら、必要なときに身近な地域で質の高い医療を安心して受けられる
    - ・急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスが切れ目なく適切に受けられる
- （在宅療養者の急変時の往診や、入退院の連携などが円滑に行われる）

## &lt;平成 30 年度の重点的目標&gt;

- まず、地域内の各病院の機能、地域における役割、今後の対応方針、病院間での患者の流れ等を地域で共有する

## &lt;平成 31 年度の目標&gt;

## （全地域）

- ① 引き続き、地域内の各病院の機能、地域における役割、今後の対応方針、病院間での患者の流れ等を地域で共有する。

## （地域の議論の進捗状況に応じて）

- ② その他、地域の実情や検討体制に合わせて、医療機能の実態や課題が明確になっている場合は、各地域でのテーマを決めて、議論を深めていく。

（例：高齢者の救急機能の確保、在宅医療の後方支援、入退院支援、診療所・在宅医療・介護施設等の連携など）